

# みゆきポーク生産を通じた地域内循環型農業の推進

(長野県：佐藤養豚場)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
	○				

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：長野県飯山市
- ・代表者：佐藤良昭
- ・飼養頭数：総頭数約1,100頭  
(繁殖豚85頭、年間出荷頭数2,000頭)
- ・労働者数：4名(夫婦2名+従業員2名)



低コストハウス豚舎

### <取組について>

#### ○ 概要

- ・JAながののみゆきポーク生産農家は、佐藤養豚場を含め管内に2戸。
- ・みゆきポークは特別なマニュアルに沿って育てられた豚肉。配合飼料もキャッサバや大麦を多く配合することで、脂の質が良くなり、臭みがなくなる。
- ・みゆきポークのほぼ100%が北信地域で消費される。
- ・地域で発生するきのこの廃菌床ともみ殻を敷料として利用するなどの工夫を凝らし、良質な完熟堆肥の生産を通じ地域内循環型農業を推進。

#### ○ 今後の課題

- ・みゆきポークや地域の食材をアピールして、地域活性化を図る。
- ・みゆきポーク生産者の中で高齢化が進んでおり、後継者の確保が重要。
- ・平成29年から、JAながの・飯山市を中心として「北信州みゆきポークプロジェクト会議」を設立し、後継者となる養豚経営者を公募している。



みゆきポークを扱う  
地元レストラン

